

グループ名	ユニット名等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
現代社会	2単位 国際社会	民族と国家	渡辺敦子	2年次	春

授業のキーワード	冷戦と民族紛争、民族紛争と国際関係、日米関係と日系アメリカ人
授業の概要・目的及び修得させる知識・技能	①主要な民族紛争の生成と展開、それが国際社会に与える影響を学ぶ。 ②日系アメリカ人史を手掛かりに、多民族国家が抱える問題と日米間に横たわる文化的摩擦への理解を深める。
履修のアドバイス・前提科目等	履修を考えている学生は必ず第一講に出席し、講義の目的や評価方法を理解した上で履修登録をすること。

## 授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	オリエンテーション	講義の目的、評価方法、参考文献紹介。	第9講	多民族国家と国民統合—アメリカ合衆国①	アメリカ合衆国における国民統合理念の変遷を追う。
第2講	ナショナリズムと国民国家	近代国際関係の主体である「国民国家」とは何か？	第10講	多民族国家と国民統合—アメリカ合衆国②	平等の追求：アフリカ系アメリカ人と公民権運動、アフターマティブアクション
第3講	国民国家の形成—フランスとドイツ	二つの国民統合モデルを比較する。	第11講	多民族国家と国民統合—アメリカ合衆国③	日米関係の狭間に生きる日系アメリカ人：移住、強制収容から補償運動へ
第4講	ユーゴスラヴィアの解体	なぜユーゴ国民のアイデンティティが、国家から民族に移ったかを読み解く。	第12講	多民族国家と国民統合—アメリカ合衆国④	日系アメリカ人の強制収容を例に、民主主義国家における安全保障と市民的自由のバランスについて議論する。
第5講	パレスチナ問題と中東戦争①	パレスチナ問題と中東戦争の歴史を、国際政治に及ぼす影響にも言及しながら解説する。	第13講	多民族国家と国民統合—アメリカ合衆国⑤	映画「ガン・ホー」に描かれた両国民像と、日米貿易摩擦、文化摩擦について議論する。
第6講	パレスチナ問題と中東戦争②	中東平和の可能性と限界について考察する。	第14講	多民族国家と国民統合—アメリカ合衆国⑥	真珠湾攻撃と原爆に対する日米の認識を比較考察する。
第7講	東アジアの国際関係と民族問題	中国と台湾、韓国と北朝鮮を取り上げ、分裂経緯、対立が国際政治に与える影響を考える。	第15講	期末試験	論述形式、自筆ノートのみ持込可
第8講	南アジアの国際関係と民族問題	インドとパキスタンの対立を取り上げ、紛争の原因、国際社会に与える影響を考察する。	評価方法		期末試験 7割(論述形式、自筆ノートのみ持込可)、出席 3割(講義後に感想、質問などを書いて提出する用紙を出席票とする)
備考 (関連する資格・試験等)		民族問題の基礎知識の習得と、進学してこの分野を本格的に学ぶための基礎作りを目指す。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
特に指定しない。毎回レジユメを配布する。			大澤真幸・姜尚中編『ナショナリズム論・入門』（有斐閣アルマ、2009年） 塩川伸明『民族とネイション—ナショナリズムという難問』（岩波新書、2008年） 田中明彦・中西寛編『新・国際政治経済の基礎知識』（有斐閣ブックス、2004年）		